

## Vol.80 「学校における屋外スポーツの危険と対策」

スポーツの秋になりました。学校で行うスポーツといえば、体育の授業、部活動、運動会や体育祭など屋外で行うものが多いです。では、この季節の屋外スポーツにはどのような危険があって、学校はどのような安全対策に取り組んでいるのでしょうか？今回は、全国の小中高校の教職員を対象に、屋外でスポーツを行う際の心配事や、屋外スポーツを行う際に学校が行っている安全対策についてうかがいました。

**調査概要**

調査対象：全国の小中高校の教職員2,200人

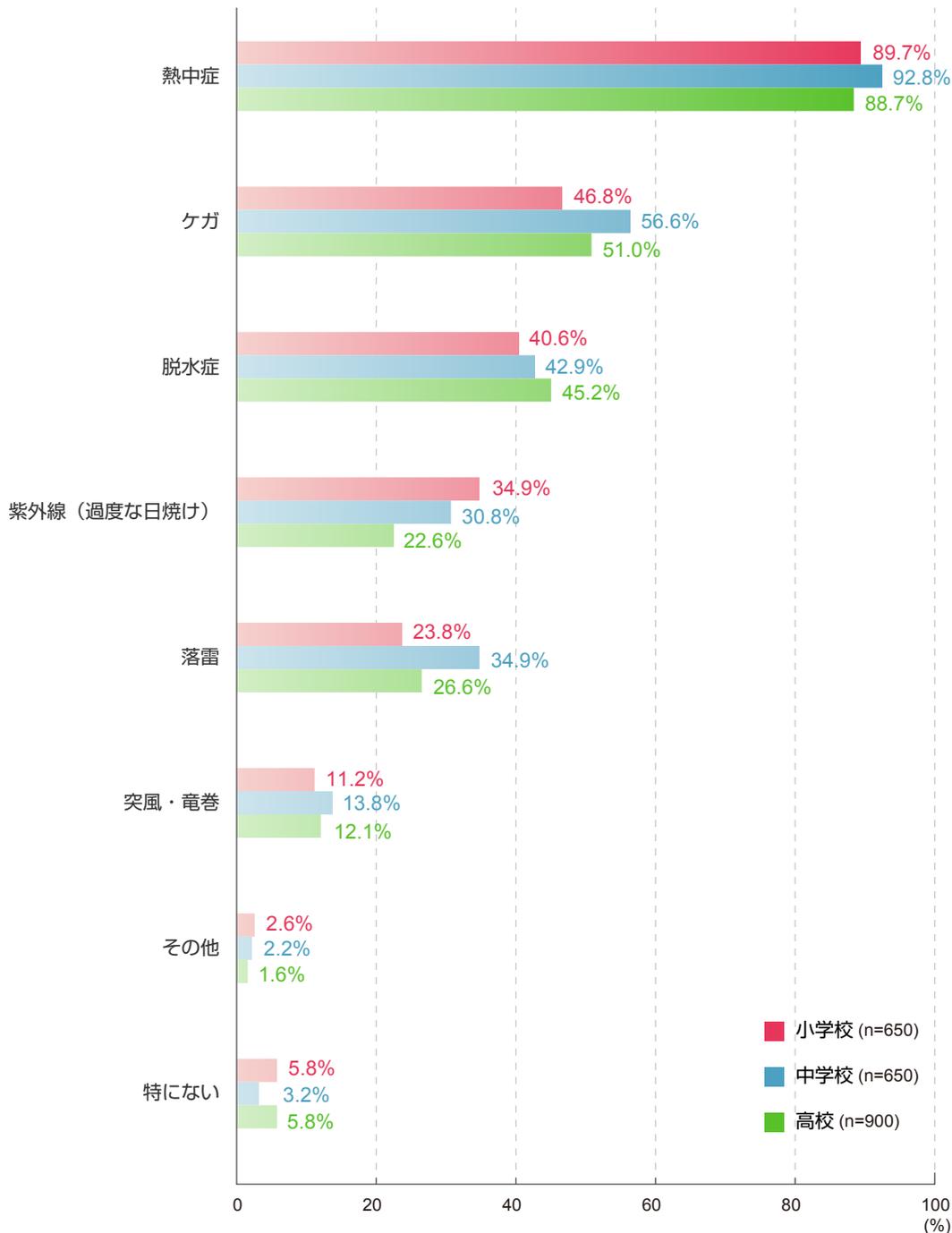
調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2012年7月



## Q 屋外スポーツにおける心配事

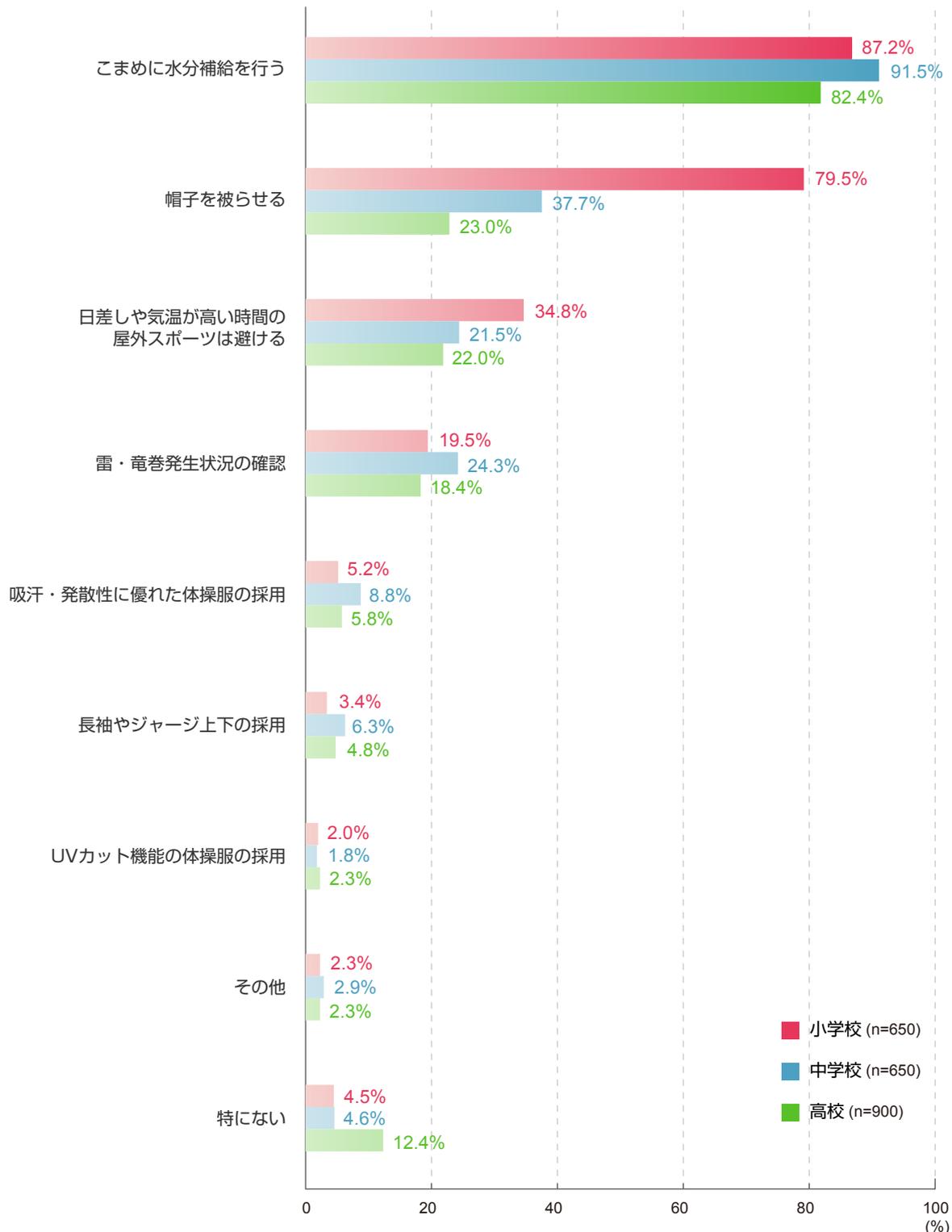
学校が屋外スポーツを行う際の心配事としては、1位は「熱中症」で、小学校89.7%、中学校92.8%、高校88.7%とほとんどの学校が心配事として回答しています。2位は「ケガ」で、小学校46.8%、中学校56.6%、高校51.0%、3位は「脱水症」で、小学校40.6%、中学校42.9%、高校45.2%となります。「その他」の心配事としては、「光化学スモッグ」「放射線」「虫さされ」「女子校なので不審者の侵入」などがありました。



【図1】 屋外でスポーツを行う際に、心配事がありますか？(複数回答)

## Q 屋外スポーツの安全対策

学校が屋外スポーツの安全のために子どもたちに行っている取り組みで、最も多いのは「こまめに水分補給を行う」という回答で、小学校87.2%、中学校91.5%、高校82.4%になります。次に、「帽子を被らせる」が、小学校79.5%、中学校37.7%、高校23.0%となり、小学校の約8割が帽子を着用しています。また、「吸汗・発散性に優れた体操服の採用」「長袖やジャージ上下の採用」「UVカット機能の体操服の採用」と着衣での工夫もみられます。「その他」の安全対策としては、「日焼け止めの使用を許可する」「テントを設置し日陰で休憩できるようにする」などの回答がありました。



【図2】 屋外スポーツの安全対策として、取り組んでいることは？（複数回答）

 まとめ

ここ数年の傾向として、日差しの強さや暑さなどによる子どもの体調悪化や不安定な天候を懸念して、秋に運動会などの屋外スポーツを控える学校もあるようです。

総務省消防庁の発表によると、2012年の夏に熱中症で救急搬送された人は、全国で4万人を超えています。この件数の多さに連動するように、小中高校が体育授業、部活動、運動会や体育祭などの屋外スポーツを行う際の心配事としては、「熱中症」が圧倒的に多く、小中高校の約9割が心配事と挙げています。次に多い「ケガ」は約半数で、続いて「脱水症」「紫外線(過度な日焼け)」「落雷」が2～4割と、暑い季節に多く発生する事柄が心配事となっています。このような危険から子どもたちを守るために屋外スポーツの安全対策として学校が行っている取り組みとしては、「こまめに水分補給を行う」が約9割と最も多く、「帽子を被らせる」、「日差しや気温が高い時間の屋外スポーツは避ける」、「雷・竜巻発生状況の確認」などの取り組みがみられます。

学校で行うスポーツは子どもたちの体力づくりや健康のために欠かせないものです。その学校スポーツをサポートするものとして、汗処理機能の高いものから有害な紫外線から肌を守るUVカット機能付のものなど、様々な機能を兼ね備えた体操服が登場しています。また、夏でも強い日差しから肌を保護やケガ防止のために長袖やジャージ上下の必要性も高まっているようです。

毎月最終  
火曜日  
更新

## kanko ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

検索

<http://ozaki.jp/homeroom/>